

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公開番号】特開2014-54425(P2014-54425A)

【公開日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-016

【出願番号】特願2012-201524(P2012-201524)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

A 6 1 B 6/00 3 0 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月8日(2015.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体に照射されるX線を発生するX線発生手段と、
 前記被検体に照射されたX線を検出するX線検出手段と、
 前記検出されたX線に基づいて、X線画像を生成する画像生成手段と、
 前記X線画像を表示する表示手段と、
 前記X線画像に基づいて、被曝低減対象の部位を検出する部位検出手段と、
 前記検出された部位を含む領域に照射される前記X線を減衰させる減衰手段と
 を具備するX線診断装置。

【請求項2】

前記部位検出手段は、
 前記被曝低減対象の部位を含むテンプレート画像を記憶する記憶部と、
 前記テンプレート画像と前記X線画像とを比較することにより、前記X線画像における
 前記部位を検出する検出部と
 を具備する請求項1に記載のX線診断装置。

【請求項3】

前記部位検出手段が前記部位を検出したとき、前記部位に照射されるX線を減衰させる
 ための前記減衰手段の移動制御を行う制御部を更に具備し、
 前記表示手段は、表示画面上において前記領域を示す場所に、前記移動制御が行われる
 略直前のX線画像を表示する請求項1又は請求項2に記載のX線診断装置。

【請求項4】

前記X線画像に投影された所定の器具を検出し、当該器具を含む関心領域を設定する設定
 手段、
 を更に具備し、
 前記減衰手段は、
 前記被検体に照射されるX線の照射領域を前記関心領域に限定するよう独立に移動可能
 な複数のX線絞り羽根と、
 前記関心領域に前記X線を照射すると共に、前記検出された部位を前記X線から遮蔽す
 るように前記各X線絞り羽根の移動制御を行うX線絞り制御手段と、

を具備する請求項1又は請求項2に記載のX線診断装置。

【請求項5】

前記減衰手段は、

前記被検体に照射されるX線を減衰させるために設けられ、移動可能な補償フィルタと

、
前記検出された部位を前記X線から覆うように前記補償フィルタの移動制御を行う補償
フィルタ制御手段と、

を具備する請求項1又は請求項2に記載のX線診断装置。